

令和4年度 スポーツ推進事業評価

資料 - 2

【第五次総合計画上の区分】
第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

〔評価等の凡例〕 【実績】 Aー成果があった Bー少し成果があった Cーあまり成果がなかった Dーまったく成果がなかった
【中間】 ○ー事業継続中 △ー事業実施予定 ーー事業中止

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項			
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率							
1.生涯学習の推進	1	町スポーツ・レクリエーション祭	(対象)	全町民	開催回数(回)	1	0	0	入場者数(人)	500		0	—	—	町民ニーズ(アンケート結果)を基に時代に合った内容を計画し進めていく。	新型コロナウイルス感染症対策として事前申込、人数制限500人、種目数を減として計画した。			
			(目的・内容)	雨天のため中止															
			(予算科目)	保健体育総務費															
			(主な経費)	報償費(謝礼40千円)、需用費(消耗品費350千円、食糧費620千円、印刷製本費84千円)、役務費、使用料及び賃借料															
	2	町内オリエンテーリング	(対象)	小学3～6年生	開催回数(回)	1	0	0	入場者数(人)	50		0	—	—	公道に出ることから、安全面等を考慮し、実施内容(随行員の増加等)について、見直しをする予定。	スポーツ推進委員と共催。 <u>スポネットせいらう委託事業</u>			
			(目的・内容)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止															
			(予算科目)	保健体育総務費															
			(主な経費)	—															
	3	障がい者スポーツ(スポネットせいらう)	(対象)	障がい者、健常者	開催回数(回)	11	10	91	参加者数(人)	700	709	101	A	コロナ禍であるが、対策を講じながら大会等を実施した。	継続して、推進・支援していく。	①5月14日～15日 全国の地区聴覚障がい・知的障がい者バレーボール大会 参加者200人(聖0人) ②5月18日 新潟県障がい者スポーツ大会 フライングディスク 400人(聖3人) ③9月18日 町ポッチャ大会 19人(障5人) ④10月1日 新潟県知的障がい者サッカー大会 45人(聖0人)			
			(目的・内容)																
			(予算科目)	保健体育総務費															
			(主な経費)	スポネットせいらう委託料に含む(消耗品費、審判・講師謝礼)															
	4	スポーツ少年団	(対象)	各小学校・中学校の児童・生徒	活動団体数	10	10	100	団員数(人)	259	291	112	A	スポーツに親しむ子どもの受け皿として、重要である。	引き続き実施していく。	例年は各団の活動のほかに、入団式、交流会を実施しているが、今年はコロナ等により未実施。			
			(目的・内容)																
			(予算科目)	社会教育総務費															
			(主な経費)	芸術スポーツ文化奨励金の一部(円)															

第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 生涯学習の推進	5	ジュニア競技スポーツクラブ育成事業(フェンシング)	(対象)	ジュニアフェンシング競技者	事業開催数(回)	58	58	100	参加者数(人)	10	9	90	A	県の強化指定を受け、競技の普及と強化を行っている。成果として、好成績を収める選手がいる。	引き続き実施していくが、普及活動を進める。	
			(目的・内容)	フェンシング競技の普及・強化と、子どもたちの健全育成に資する。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	負担金補助及び交付金(484千円) ※県補助金286千円												
	6	スポーツエキスパート活用事業(中学校運動部活動指導者派遣事業)	(対象)	中学校運動部活動指導者	種目団体数	1	1	—	のべ参加者数(人)	3,000	3,345	112	A	部活動の在り方が見直されているなか、学校(教諭)の負担軽減及び指導内容の充実など期待が大きい。	引き続き実施していく。	種目 ・軟式野球
			(目的・内容)	スポーツ指導者の活動機会の確保と中学校運動部活動の競技力の向上を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	報償費(344千円)												
	7	聖籠町親善剣道大会(広域事業)	(対象)	町内の少年少女剣士	開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	800	422	53	B	下越地区の小中学生を対象とする歴史ある大会である。運営は町剣士会が行っている。第39回。	引き続き実施していく。	令和4年12月4日開催 ※新型コロナにより団体戦のみ実施
			(目的・内容)	町の少年少女剣士の健全な心身の育成と技術力の向上、併せて県内の少年少女剣士との交流を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	需用費(消耗品費39千円)												
	8	スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)	(対象)	町民	開催回数(回)	336	336	—	参加者数(人)	4,800	5,949	124	A	町生涯スポーツ推進計画に基づき実施する各種スポーツ事業について、効果を高めるため実施している。コロナ禍であるが、対策を講じながら開催している。	事業ごとにアンケートを実施しており、検証しながら進めている。	・太極拳 40回 ・おやすみヨガ 40回 ・ヨガ教室(昼の部) 40回 ・ハワイアンフラ 40回 ・走るの好きっ子(陸上) 66回 ・ジュニアバドミントン 37回 ・できるDAYS 39回 ・体操 39回 ・バラスポーツ教室 10回 ※中学校選抜バスケット大会(新型コロナのため中止)
			(目的・内容)	住民のニーズを的確にとらえ、スポーツを身近に感じられるよう、有効なスポーツ機会を提供し、人的交流・健康増進を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	委託料(15,138,721円) 太極拳、おやすみヨガ、ヨガ教室(昼の部)、走るの好きっ子(陸上)、ジュニアバドミントン、できるDAYS、幼児チャレンジ、体操、バラスポーツ教室 聖籠町学童野球大会、はまなす杯中学生ソフトテニス大会、中学校選抜バスケット大会、バラスポーツ教室、ドッジボール大会												

第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率					
1 生涯学習の推進	9	スポーツ振興業務委託事業(アルビレックス新潟)	(対象)	園児・小学生・中学生 等	開催回数(回)	28	28	100	参加者数(人)	1,500	1,784	119	A	事業ごとに精査している。「早く走る講座」は小学校から評価が高い。	評価の高い事業は、引き続き実施する。事業内容を検討していく。一般町民向けの企画も計画・実施していく。	・楽しいスポーツ教室 6回 ・サッカーチーム指導 6回 ・早く走るコツ講座 9回 ・観戦招待 6試合 【雨天中止】 ・町スポーツレクリエーション祭(代替事業実施予定)
			(目的・内容)	プロスポーツとの連携により、プロ選手からの直接指導やスポーツ教室等を経験することで、住民のスポーツ意識の高揚を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	委託料(4,800千円) ・楽しいスポーツ教室 / ・サッカーチーム指導 ・速く走る講座 / ・町民招待観戦 等												
	10	聖籠町芸術・スポーツ文化振興奨励金等交付事業	(対象)	芸術・スポーツ分野において活躍する個人・団体	申請件数	78	46	59	申請件数	78	46	59	B	コロナ禍により、対象大会が中止・縮小することにより、交付実績が減少している。	令和3年度末に交付内容の見直しを実施した。 スポーツ少年団、文化団体への奨励金は補助金へ移行	令和3年度 34人 令和2年度 14人 令和元年度 80人 平成30年度 113人 平成29年度 89人 平成28年度 115人 <u>コロナ禍の影響による対象大会の減少の為</u>
			(目的・内容)	優れた技能を有し、又は挑戦・活躍する町民等を対象に奨励金等を予算の範囲内で交付することにより、もって更なる技能向上・活躍を支援し、日本及び世界で活躍する町民等の育成を図り、町の社会教育に係る芸術・スポーツ文化の発展に寄与する。												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	報償費(1,680千円) 国際大会 80千円 全国大会 10千円(個人) / 100千円(団体)												
	11	スポーツ推進委員	(対象)	スポーツ推進委員(17名)	活動回数(回)	10	14	140	参加者数(人)	—	—	—	—	継続して活動していく	【活動回数】 定例会・研修会 14回 参加者 144人(延べ) 【主な事業】 ・町スポレク祭 ・オリエンテーリング ・ナイトウォーク	
			(目的・内容)	町のスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	スポネットせいらう委託料に含む(報酬、旅費、需用費)												
	12	体育施設開放事業	(対象)	町スポーツ登録団体等	開催日数(日)	306	306	100	施設利用人数	60,000	102,170	170	A	町民等の健康増進の提供のため町内11施設を開放している。年2回の調整会議を行い、利用促進を図っている。	引き続き実施していく。	
			(目的・内容)	身近に、気軽にスポーツを楽しむ場を提供するため、学校を含めた体育施設の開放を行い、広域利用の促進を含めた施設の利用促進を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	—												

第3章 未来を創る子どもの育成
 V 人生100年時代の学び
 1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 生涯学習の推進	13	スポアイランド ファミリー開放デー (体育施設開放事業)	(対象)	家族等	開催回数(回)	15	13	87	参加者数(人)	300	183	61	A	特に費用はかかっていない。新型コロナに伴い遊び用具を貸出していない中で親子で遊ぶ姿が見えた。	新型コロナ対応が緩和され遊び用具の貸出再開。また、スポネットせいらうと協議しスポアイランドでの事業展開を検討する。	7月～8月 土曜日の夜 9回計画 (内 雨天中止2回) 9月～10月 日曜日の日中 6回計画
			(目的・内容)	普段サッカーの使用目的以外では立ち入り禁止にし、サッカー場として整備しているスポアイランド聖籠をサッカーをしなくても入場することができ芝生の上で遊ぶなど交流を図る												
			(予算科目)	社会体育施設費												
			(主な経費)	特になし												